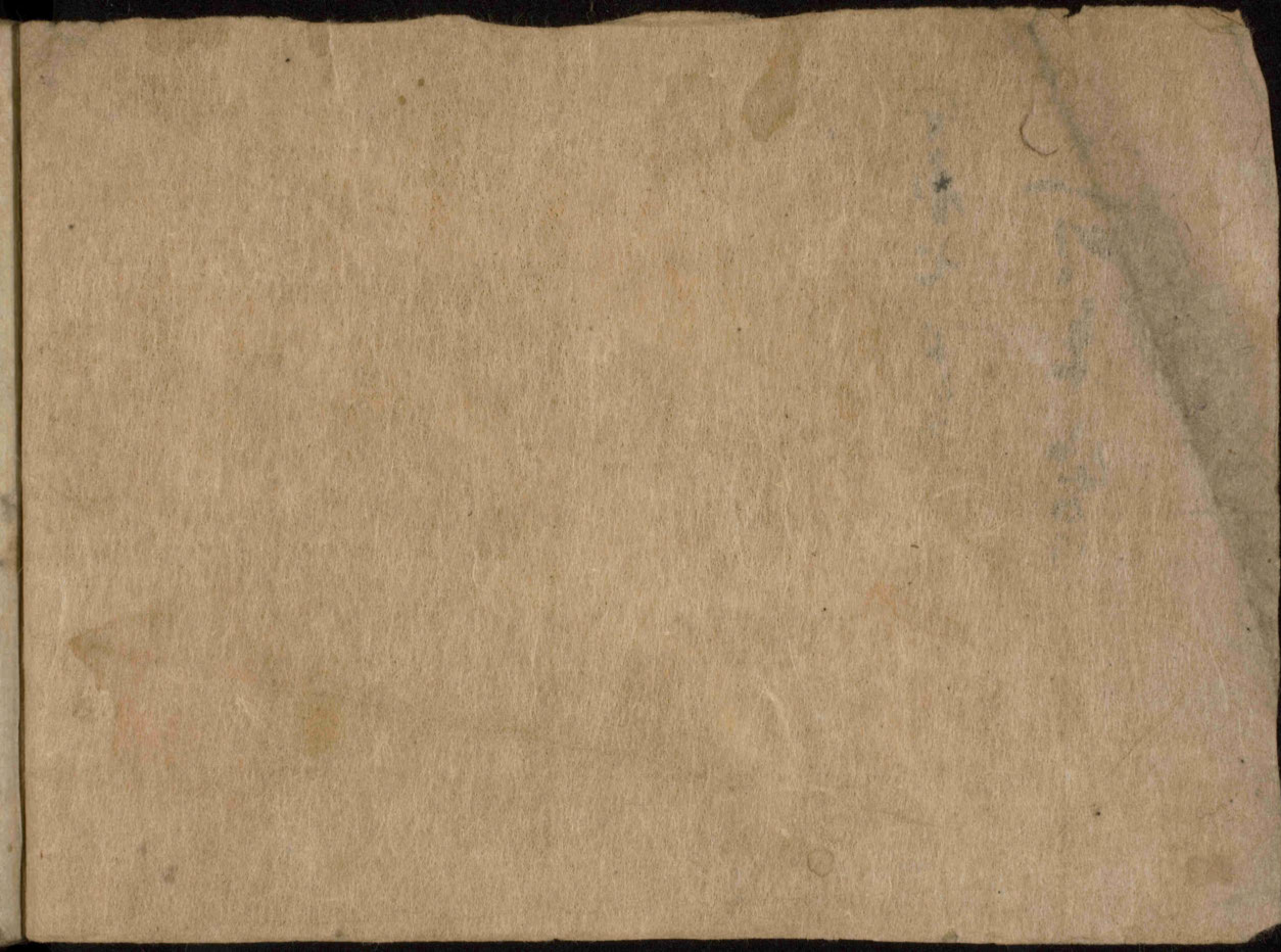


古名和細見

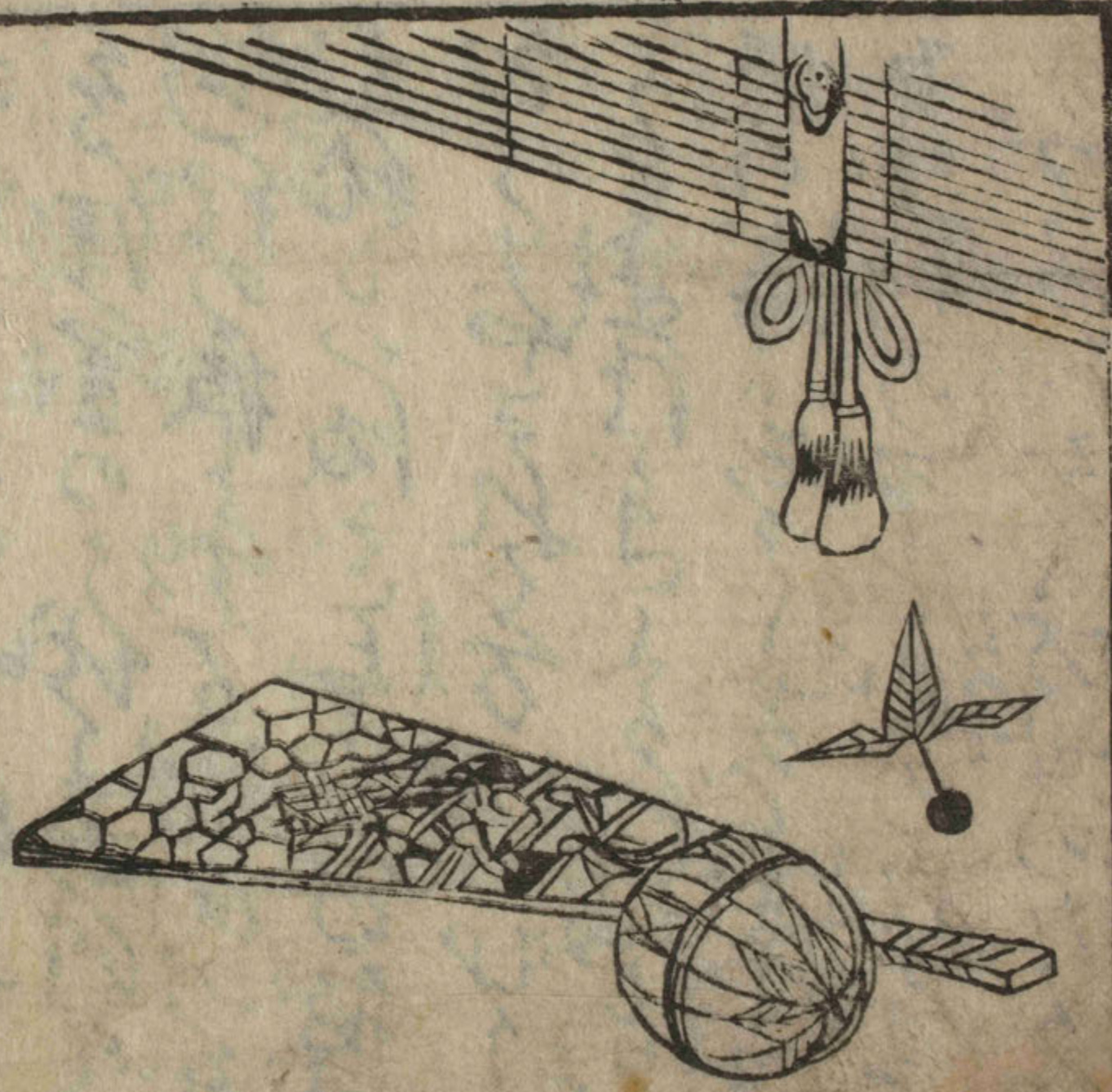
安永七戌年

可集室



序

ひびくわがこころを
洞房に春の華は居候
うらひの心ありて
に連る庭お花の影も
宵の月天はわつと
多し涙のうたはあ
まの枝とわが原氏の
立就くはなをさる
わがやされど方治
うらと建はさる
境の名はあき
五十年の事
ふむる時を万世の



ひしと或方人よまゐるひ
 東武より山りよの
 ちきりかきていけい

見まひし
 大文字屋
 重頼

とむかいしよる

咲りて結ぶの神衣をさ
ゆゑに武仲の町色と事ふ
妓女並の多き名譜とふ
冊より可成清と歌ふ
ずと神衣の衣通姫
乃に神衣の衣通姫
ろつ貴の太あの本金に
彈臂との晒燕とふ
りし

安永七戌初春

花柳羅門岸上

娥眉菴 文祇戯述

年中月次とん日

正月
○松のゆせきとあひまうろ ○土日土曜日
 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日

二月
○とろひりま ○朔日 十五日
 十六日 十七日 十八日

三月
○朔日 二日 十五日 十七日 十八日 十九日

四月
○朔日 八日 十五日 十七日 十八日 十九日

五月
○朔日 五日 十六日 十七日 十八日 十九日

六月
○朔日 十五日 十七日 十八日 十九日

七月
○朔日 七日 十日 ○十三日 八休あり
 十五日 十六日 十七日 十八日

八月
○朔日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日

九月
○朔日 九日 十二日 十三日 十四日
 十五日 十七日 十八日 十九日

十月
○いのこと 十八日 十九日 二十日 二十一日
 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日

十一月
○朔日 八日 十五日 十七日 十八日 十九日

十二月
○朔日 八日 十五日 十七日 十八日 十九日

惣直段其外合印

太夫 九拾目 同三十目斤多六十八日

拾子 六拾目 同十安山所あまハ武家○中

三人ちや 三 衆 五 衆 持 八 中

同 三拾目付 中 衆 持 八 中

一一一

中巻久七
中巻久七
中巻久七
中巻久七
中巻久七
中巻久七
中巻久七
中巻久七
中巻久七
中巻久七

5154 + 10000 = 10515
 10515 + 10000 = 20515
 20515 + 10000 = 30515

志也や毒川
 玉川依介
 柳也や清介
 夢屋士うと
 多ひや孝之
 とうや孝之
 四目や孝之
 孝之や孝之
 山屋少之
 柳也や清介
 柳也や清介



同善堂

待食



一

徑所學同

中の所

新築

さうい

ふんきう

すま

河

目一冊

田

火道虎

山守ふき

系所或

南

山守ふき

山守ふき

山口

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

山守ふき

けいふしりり入口

りるや九事以
わろや三事以
恨りや五事以
ほろや六事以
りるや七事以
ふりや八事以
おろや九事以
四ろや十事以
一りんとあま
くややあま
七ろや八事以
まや九事以
りるや十事以
ほろや十一事以
まろや十二事以
りるや十三事以
大ろや十四事以
りるや十五事以
大ろや十六事以
りるや十七事以
大ろや十八事以
りるや十九事以
大ろや二十事以

けいふしりり入口

りるや九事以
わろや三事以
恨りや五事以
ほろや六事以
りるや七事以
ふりや八事以
おろや九事以
四ろや十事以
一りんとあま
くややあま
七ろや八事以
まや九事以
りるや十事以
ほろや十一事以
まろや十二事以
りるや十三事以
大ろや十四事以
りるや十五事以
大ろや十六事以
りるや十七事以
大ろや十八事以
りるや十九事以
大ろや二十事以

Handwritten text in Arabic script, likely a signature or name, appearing on the right side of the page.

ひやうぶくちく
ひやうぶくちく

是方室廬之部

江ノ國を以て内中の所なるをさす



一 少名女

知

いづれ

うねる

初より
うの
八重の

ちるり雪

初九

ハミダ

知

初

うきと

合の所

木令也

へちぎる

初

三

卷之六



陰

松の井

今
孫
氏

金剛經

谷梁

今
う
う
う
の
の



之

三

糸の

必死

和

志々丸

三

三

ちのめり
のめり

のう

三才圖會

五七

ちの

子
子

之

三

知不足齋

ついでに
おれい
おれい
おれい
おれい
おれい
おれい
おれい

やそ



河内屋の表紙

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

三河屋の表紙



へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

へきとるん へきとるん

三河

三河

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

い ぬきやうき

い

丸

○おんやらん

七

へ へ へ へ へ
す ち ろ も ぼ
つ め ろ や ま る
の ろ の の の の

へ へ へ へ へ へ へ へ
き み ち ぐ 二 の と へ
の ん の ん の ん の ん の ん

み り ち ち ち ち ち ち
ら い ち ち ち ち ち ち
さ い と ち ち ち ち ち ち

う
そ

江戸町を千両中の所かたりと



たまふふふふ

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

かきく

まきこ
まの
まの

まき
まの
まの

まき

●
みのゝ安んぶ



うゝ
やまの
山
やまの
山
やまの
山

へみぢぎの
へ七さる
へあむめ
へうづき
へまの井
へおし
へたつ
へあひ
へさしぬ
へたの井
へまの
へおしの

るゝ
きん
りの
み



わたりやうき

五

[illegible]

あぢき
あぢぎ
あぢふ
あぢく
あぢし
あぢう
あぢえ
あぢひ
あぢま
あぢや
あぢの
あぢと
あぢり
あぢる
あぢさ
あぢた
あぢち
あぢつ
あぢて
あぢは
あぢを
あぢに
あぢへ
あぢそ
あぢか
あぢこ
あぢけ
あぢこ
あぢけ



① ますぶく 估分

く
まんちう
まのいふ
んざん
きさぶ
あを
そとみ
うらな
たむ
おのえ

うゝとひさ
すゝとひさ
あゝとひさ
うゝとひさ
うゝとひさ
うゝとひさ
うゝとひさ
うゝとひさ
うゝとひさ
うゝとひさ

20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 533
 534
 535
 536
 537
 538
 539
 540
 541

發

明



今カズミ

か

吟

陽

九

八
子
子

三

山

山
澤
之
氣

へいふのそ

△
吉
子
子
子

人
萬
年
壽

靜

一 子文忠公

[illegible]

松一

卷之九

4. 6. 10.

賢者

河内或一肉中の町をなぞる



はるや利なす

ゆき

ま

も

み

さ

み

さ

ゆき

ま

も

ゆき

ま

さ

王亭屋

一五七〇 五七〇

山

山

山

新

新

新

新

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

鐵鑪屋

[illegible]

今も
あつた
やうに
さうだ

今も
あつた
やうに
さうだ

今も
あつた
やうに
さうだ

今も
あつた
やうに
さうだ

一
八
習
如
虫
七

まづは
清くせよ
清くせよ
けいこ
花の井
思ひ
けいこ
みよの
こと
まづは
まづは

中

丁子厚店義

[illegible]

天

卷之四

卷之五

冬
えん
げん

卷之五

うやうやう

2

の

入
く
あ
の



入
分
所

二の
子
子

水手

三

す
ぎ
の

三

七

ア
ん
ザ
ん

三

傳

少々

卷之四

乙亥

やう

考のやう

三

かみふく仁彦

上

おのころ

あやふし

多々

五

張

五

必志づ

卷一

孝

9214

考

卷

あ
ら

三

生

五

すゝの

くさの

卷之八

三

老

三

あつち
あつち
ちさし

焚



いふかふいふ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

いふか

いふか

いふか

いふか

いふか

いふか

いふか

いふか

いふか

あゝあゝ

家屋

玉造

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

合出

ハナラ

ハナラ

ハナラ

ハナラ

ハナラ

ハナラ

ハナラ

ハナラ

大正和

大元也

ちんちん

へちとち
へつとち
へんき

かうきふ

五

へ
さ
ら
る

あ

卷之四

三

多

三十一の

五

まへ

之

おのゝ

人



○ 山日やうきふ

心さ巻

るる

あふや

今

ことぶ記

卷之五

三

あやうけ

あのをきけ

三

入之しき
志しき

あけそ
くれそ

海

二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

又うむめ

うさ

あのをえ

ありて
ある

大なるを主とす

三ノ

三

ちるふ

楊かえ

きよ

考

うたふて

花

はるの

保

之



大元や

へんぎ

子

今
七

人々々々

入

今

合

小菴

卷之四

あざみ

八

ちるるる

۱۰۰

三

卷之四

五

すやま

子

交

卷之四

やう



大あひや利あま

今條

谷
あびり

今
み
き
の

多

水

六の五
去の八

あひて

考ひて

をわの

とく

公南

へるのみ

三

卷之五

あひどの

傳

名

うごぢの

そめり

海の井

まゐる

卷之四

中
七

角田所よりなりと



明和五

三

江の島

あやう

うき

五

今月

るの

へにぎら
なみの

五

公之

22

へふのりや

三

あめの

卷

へ
に
ぎ
う

三

へんたふの

夫

ك

五

そのうち

...

子

力

うづの
うづの

卷之四

平



○ ちやんや喜嘉

△ ああ

△ ちやん

△ ちやん

△ ちやん

△ み

△ ちやん

△ ちやん

△ も

△ ちやん

△ ちやん

△ み

△ ちやん

△ ちやん

△ う

△ ちやん

△ ちやん

△ ちやん



○ きりやほめ市

△ め

△ ちやん

△ あ

△ ちやん

△ は

△ ちやん

△ の

△ ちやん

△ の

△ ちやん

△ ら

△ ちやん

△ ちやん

若松

一 づのきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

へきりあひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

俵

たきもろく

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

△ ちの ちの ちの

ちの ちの ちの

ちの ちの



○ かりたてや

みは浦

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

尾張屋

○ かりたてや

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みはの

へ みる

みる

みる

大三や

○ 大三角市ちや

へ	へ	へ	へ	へ	へ	へ	へ	へ	へ
み	く	九	の	た	し	あ	あ	あ	あ
さ	す	の	の	さ	し	け	け	け	け
は	が	ち	ち	や	や	ぐ	ぐ	ぐ	ぐ
	の	き	き	き	き	き	き	き	き

ちや
き

京町老丁目仲の所よりたが

国本

ちやき

○ ねうや七五

竹

へあつちち

八才の尾

朱子

卷之六

卷之六

有

三

今

子
 子
 子

冬奇花

以

父子

子

三

卷之四

卷之六

三

人斗所并

夢

人々

卷之四

とふ

七

五

ちんせ

あ

出古

之



○
かゝる活字あり

三ノノ本

卷之五

たつみと

三

たち

てう

くわんくわん

あひそ

三

三

ちぢぢ

なる

漢書

孝

深き

あふろま

うの

三

養子

まの

あはれ

たゞ

三

志をのこ

多

張



○ なまやなま

みさる

うごぐ
うごぐ
うごぐ
うごぐ
うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

うごぐ

さる

なま

海老屋

一 あびや、あきき

海老屋

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき

あきき



云地やまふ

へ 嶋まら 七きく

へ 雲のう 光さく

へ うのう 谷のと

へ 夢野ま う浦

へ 佐のい う葉

へ うくえ

へ 乃まぬ

へ うくえ

へ 杉の枝

へ ねむ

へ きく

へ 七う

夢野ま

やとあひ

めく

ア
ふ

明*



四國全書

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

馬

式部

之

えん

好

[illegible]

留とどやの
 ささききふふねね
 ううみみいいぬぬ
 湯ゆああしし
 ままつつりり山さん
 んんままろろうう
 ううみみいいぬぬ
 ままららけけ世よ
 セせささやや
 玉たまのの井い
 りりのの日ひ
 ああききとと
 美みのの年とし

大

お さま
あ さん
も れ づ
ま ぐ ん
さ ぐ ん
さ ぐ ん
さ ぐ ん

大方廣

八 二のゑ
 七 き
 六 ちのた
 五 こぎぬ
 四 ちのた
 三 やしと
 二 ちのた
 一 ちのた
 ちのた
 ちのた
 ちのた

やうやく

發

心



市音也

人
？
井

人
之
子

へ
へ
へ
へ

あつきの

三

多

三

卷之五

冷

小

126

...

10

四

子

京町式丁内付の所分右のり



之於事也

今之凡

すきや
きよさ

全の浦

二
 三

うねり

の1

今

卷二

八

子

八やうら
めとむ

卷之三

三

子

三

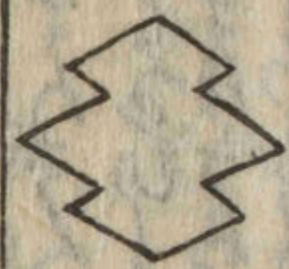
三

わさ

く
の

とらふも
とらふも
とらふも
とらふも
とらふも
とらふも
とらふも
とらふも
とらふも
とらふも

やうて



付印

々々々々

きよめ

三

きき
のじ

又
き
う
り

子
子

三

三

三

わづ

へき所

人海

九

へ
ま
の

志

ハミカ

美斷

天長三年

三才

卷之五

卷之三

その昇

むちめら

あな

二

卷之八

卷之四

卷之五

卷之四

わ

大印如久如美

夕
 夕



きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

越前屋

きりぎりすのうた

和 あ

ささく

わ あ

あ

九 の

あ

く あ

み あ

あ

む あ

ふ あ

あ あ

ち あ

う あ

う あ

ま あ

う あ

う あ

う あ

う あ

う あ

う あ

う あ

み あ

あ あ

あ あ

あ あ

あ あ

あ あ

あ あ

え



中あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ

三ッ浦

あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝ

寢屋

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

やうやうな

城

以智爲最

三才

[illegible]

中

四



三浦
多む
綿
み
有
も
る
幸
う
尾
み
と

みち
まき
もき
せう
むし
みる
かき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき

小松平八郎

燒

丸

[illegible]

へろへろ
へろへろ

玉子

のえ

うゑ

うゑ
ちんぎん

とらふ

三

とろろ

卷之四

[illegible]

かき

大重屋

大さうや 辰助

へそあぶら
へそふえ
へそへま
へそた川
へそき

へそあぶら
へそふえ
へそへま
へそた川
へそき

みくらき
いくらよ
まのり

茶

あび

あびや 八

へそあぶら
へそふえ
へそへま
へそた川
へそき

へそあぶら
へそふえ
へそへま
へそた川
へそき

みくらき
いくらよ
まのり

茶

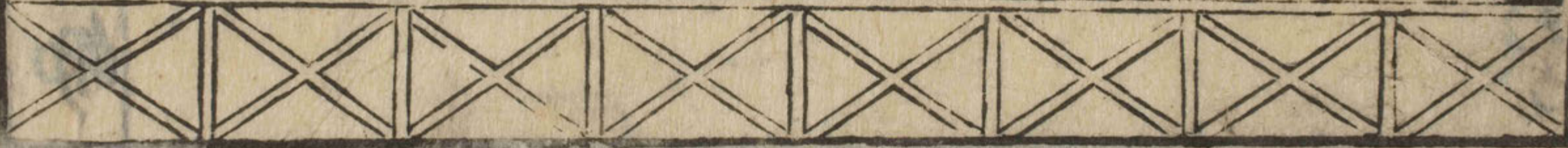
大田屋

大田屋 辰助

へそあぶら
へそふえ
へそへま
へそた川
へそき

へそあぶら
へそふえ
へそへま
へそた川
へそき

茶



邊江屋

うしろのうしろ

三

高ひや久ちあ

とよめる
きちん
うきうき
さきふ
へろひさん
へたりせん

へふへふへふ
へふへふへふ
へふへふへふ
へふへふへふ

燒



とくち

Nov 15

へあきふ

へんめがう
へんめがう
へんめがう
へんめがう
へんめがう
へんめがう
へんめがう
へんめがう
へんめがう
へんめがう

ちや



新志

ちよちよ
かよかよ
さよさよ
ふよふよ

八
あう
あう
あう
あう

方々

いふはちや

志乃ち

あけと
ひのう
なみのい
さうぜ
あのみ

張



やうやう

へ
こ
ろ
の
ま
い
り
の
あ
は
れ

かき

畀屋

くろく　と　き　ま　し　て　し　る

田中玄成

へちやう
へちやう
すもめ
そのま
とてあ
ふりや
ひりよ

中



清心堂

みちる　　と　　と　　と　　と
みちる　　と　　と　　と　　と
みちる　　と　　と　　と　　と
みちる　　と　　と　　と　　と
みちる　　と　　と　　と　　と

ちんちん
ちんちんの
ちんちん
ちんちん
ちんちん

中

二

へあづ
あづ

へしあふ
さあふの

へきふく

二、
利
益

△
△

もううた
つぎぎぎ

三

ニヤヤ
ウウ
イイ
ヤヤ

中
子



小篆

中
乙
子
巳

九

七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

子
 子
 子

五の井

若

三

方銘

大岩屋

大心長

かき

とくふ

三

又玄

不

竹本屋

竹石清風

くさくら

三

うき

三

まろやう

方

津國屋

いのちやふらふら

へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく

うのち
きんぐく
みちぐく
ハちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく

やんせ

まがやめり

の歌

まのやみち



ハちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく

へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく

うのち
きんぐく
みちぐく
ハちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく

やんせ

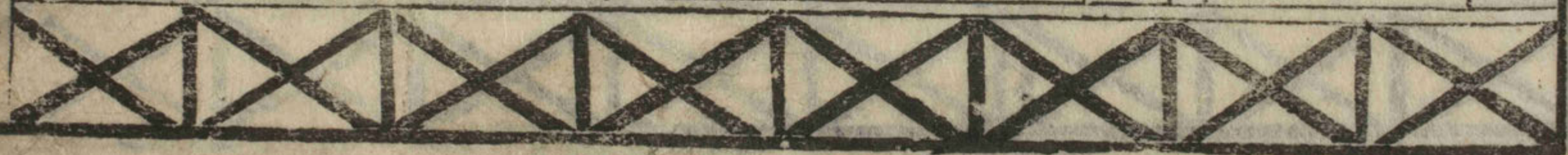


まのやみち

へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく
へちんぐく

うのち
きんぐく
みちぐく
ハちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく
ちんぐく

やんせ



つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つがひ

つづ

はらわおきん

ふみあ

ふみあ

ふみあ

ふみあ

つづ

たふみあ

へき

へき

へき

へき

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

つろ

いじやう

うらめ

きせ川

はるる

みよめ

つろき

うらめ

うらめ

うらめ

つろ

わらわぬ

うらめ

うらめ

うらめ

うらめ

つろ

うらめ

うらめ

うらめ

うらめ

台屋

うらめ

うらめ

うらめ

うらめ

つろ

うらめ

うらめ

うらめ

うらめ

うらめ

うらめ



つひ

あつちくさく

三

きよ

志

ちん

中

五

三

美

卷

五

志

三

又

才

卷之

1

卷之四

10

言リイイヤの部

寺見萬例

とよ

てい

日 東依

とん

へい

日 東例

とん

い

日 東示

ら

と

山彦半次郎

う

く

春里豊太夫

わ

あ

田芥留次

り

た

鳥羽全松彦

る

た

左十郎

る

た

和蘭太夫

き

た

采女郎

り

た

何国

の

と

五太夫

せ

つ

清沼

い

つ

源太夫

こ

つ

又市

ハ

つ

半次郎

う

つ

仁壽郎

い

う

平吉

ら

い

名二千国

ら

う

佐々木栄彦

さ

う

事八

さ

う

田安京彦

さ

う

ヤ

ヤ

う

る

り

う

る

り

う

和

わ

う

る

り

う

る

り

う

老婦人の司

仙本黒太夫

野次郎下吉

平次

新政船宿六手か橋の部

六手の部

六手

田町茶屋

夜分

六手

六手

七手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

六手

明
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

おきや
おきや
おきや
おきや

東海系細見
新吉原藏板

一同十軒全
此改仕
本村屋善八

大坂新所細見

更保法全

右二所は出来たり
ありとありとあり

安永七戌
戌歳正月

毎月大改
板元屋

110X

668

154

54

